

製品名: プロテアソーム 20S LMP2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87188**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:5000-1:50000, ICC/IF 1:100-1:200, IP 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 23 kDa; Observed MW: 21, 23 kDa

抗原情報

遺伝子名	Proteasome 20S LMP2
別名	LMP2; PSMB6i; RING12; beta1i
遺伝子ID	5698
SwissProt ID	P28065
免疫原	ヒトプロテアソーム 20S LMP2 の合成ペプチド

背景

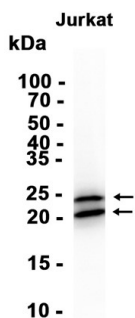
プロテアソームは、高度に整列した環状の 20S コア構造を持つ多触媒性プロテアーゼ複合体です。コア構造は、28 個の非同一サブユ

ニットからなる4つのリングで構成されています。2つのリングは7個のアルファサブユニットから構成され、残りの2つのリングは7個のベータサブユニットから構成されています。プロテアソームは真核細胞全体に高濃度で分布し、非リソソーム経路においてATP/ユビキチン依存性プロセスでペプチドを切断します。改変型プロテアソームである免疫プロテアソームの重要な機能は、クラスI MHC ペプチドの処理です。この遺伝子は、T1Bファミリーとしても知られるプロテアソーム B型ファミリーのメンバー、つまり 20S コアベータサブユニットをコードしています。この遺伝子は、MHC（主要組織適合遺伝子複合体）のクラスII領域に位置しています。この遺伝子の発現は γ インターフェロンによって誘導され、この遺伝子産物は免疫プロテアソーム中の触媒サブユニット1（プロテアソーム $\beta 6$ サブユニット）を置換する。成熟サブユニットの生成にはタンパク質分解によるプロセッシングが必要である。[RefSeq 提供、2010年3月]

研究分野

-

画像データ



プロテアソーム 20S LMP2 ウサギモノクローナル抗体を 1:5000 で使用した、Jurkat 細胞抽出物のウェスタン ブロット分析。